

令和8年度第1回愛媛県地域交通活性化中予地区協議会 開催結果

- 1 開催日時 令和8年6月11日（木）13：30～16：20
- 2 開催場所 中予地方局7階大会議室
- 3 出席者 委員 鉄道関係：10名/バス関係：16名/航路関係：8名
事務局 9名

4 協議結果

(1) 地域鉄道関係

生活交通改善事業計画について ～令和8年度分～

生活交通確保維持改善計画について ～令和8年度分～

○原案どおり再編協議会長に報告することを全会一致で承認した。

〈主な意見〉

(伊予鉄道株式会社)

- ・全国交通系 IC カード「ICOCA」を導入し、IC カード利用率が 65% から約 80% まで上昇した。
- ・市駅前広場の工事が完了し、雨に濡れることなく乗り換えが可能になった。
- ・市内電車にロケーションシステムを導入し、スマホから電車接近情報を確認できるようになった。
- ・一昨年から老朽車両の更新をしており、2年目の今年は6両2編成の更新を行う。

(四国旅客鉄道株式会社)

- ・100年前の軌道を使っている多度津の車両基地の刷新を行う。
- ・建設から50年近く経過した瀬戸大橋の線路を初めて更新する。
- ・今年度は黒字決算だが、来年度は多額の設備投資により赤字決算となる見込み。

(2) 生活バス関係

地域間幹線系統確保維持計画について～令和9年度分～

○原案どおり再編協議会長に報告することを全会一致で承認した。

〈主な意見〉

(ジェイアール四国バス株式会社)

- ・運転士不足と改善基準告示により、令和7年4月に久万高原線を減便することとなった。
- ・久万高原線はバス3台で運行しており、学生の利用が多い。

(伊予鉄バス株式会社)

- ・EVバスは、従来のディーゼル車に比べ乗り心地が良いと好評である。
- EVバスは全国でも拡大していないため、当社が積極的に導入することに

より利用者数の増加につなげたい。

- ・業界全体として運転士不足だが、初任給の引き上げにより応募者が増え、当面の目途は立った。運転士は50代が多く、5～10年先に体制を維持するため、外国人の採用なども行いたい。

(3) 離島航路関係

離島航路確保維持計画について～令和9年度分～

離島航路確保維持計画の変更について～令和8年度分～

○原案どおり再編協議会長に報告することを全会一致で承認した。

〈主な意見〉

(中島汽船株式会社)

- ・当社航路は現在2系統あり、東線と西線でそれぞれフェリー及び高速線が運行している。
- ・現在保有している船舶が古くなっているため、新規造船を行う予定。造船には3年ほどかかるため、航路維持のために本計画を策定する必要がある。

(有限会社新喜峰)

- ・水曜と第1土曜は2便、他は1便運航している。

5 その他

- ・傍聴者なし